

ハンガーゼロ(日本国際飢餓対策機構)は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体(NGO)です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、海外スタッフ派遣、飢餓啓発を行っています。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation)の一員として、20カ国、国内外の80のパートナーと協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「ここからだの飢餓」に応える活動をしています。



小堀親善大使が1月にコンサート
障がいを持つ韓国音楽家らと共に

親善大使の小堀英郎氏(ピアニスト)率いる演奏家ユニットのアンサンブルメゾン主催で1月27日(土)、大阪市の阿倍野区民センターで

コンサートが開催されます。催しは、平和のリボン〜障がい者アーティストと健常者アーティストによる日韓音楽プロジェクト〜として開催。韓国から知的障がいを持つ若手音楽家たちを迎え、ホストを務めるアンサンブルメゾンとの特別プログラムです。

共催: J Art Ensemble 後援: 駐大阪大韓民国総領事館 韓国文化院、社会福祉法人こころの家族。ハンガーゼロは協賛団体として宣伝や運営等のお手伝いをさせていただきます。

チケット: 2,500円
(全席自由) QR
コードから購
入ができます。



好評発売中

フェアトレードチョコ

フェアトレードチョコレートの世界的定番品。純粋な材料(有機黒糖、有機ココアバター、有機全粉乳、有機カカオマス、有機粉状ヘーゼルナッツ等)で作られた、秋冬限定商品です。1枚475円(税込)、1枚50g(一部45g)、4枚セット: 送料込2,000円(日時指定不可)



10枚セット: 送料込 5,000円

(日時指定は不可)

※5~9枚の場合は、商品単価×個数+送料520円(日時指定不可)

※11枚以上の場合は、商品単価×個数+宅急便料金

※送料は必ずキングダムビジネスまでお願いいたします。ハンガーゼロでは一切お受けできません。

お申し込み:

(株)キングダムビジネス
スマートフォンは右の
QRコードから

電話注文: 06-6755-4877



冬期休暇のお知らせ

当機構は12月30日(土)~1月3日(水)を冬期休暇とさせていただきます。支援者様からのお電話やメー

ルによるお問い合わせへの対応は4日以降となります。何卒ご理解のほどお願い申し上げます。よい年末年始をお迎えください。

あなたの祝福を分かち合いませんか
Giving Back
わたしから始める...愛の恩返し

遺贈寄付

顧問弁護士が無償でご相談等お手伝いします

Zoom無料セミナー 次回は2024年2月20日

「参加希望者」は jifhtokyo@gmail.com メールまたは電話で



東京事務所・近藤 TEL.03-3518-0781

詳しくはお電話でご説明しますのでご連絡をお待ちしています

資料請求もできます。事務局までお問い合わせください

サポーターお申込み欄 FAX072-920-2155

氏名	フリガナ	姓	名
(TEL)			
住所	〒		
申込日	年	月	日 NL402号
<input checked="" type="checkbox"/>	下記から希望されるものをお申し込みください		
<input type="checkbox"/>	ハンガーゼロサポーターとして協力します。		
	<input type="checkbox"/>	①毎月()円	(1口1,000円)
	<input type="checkbox"/>	②一時募金として	円協力します。
<input type="checkbox"/>	継続募金(JIFH サポーター)として協力します。		
	<input type="checkbox"/>	毎月()円	(1口500円)
<input type="checkbox"/>	チャイルドサポーター(子ども1人毎月4,000円)の説明書(申込書)を送ってください。		
<input type="checkbox"/>	郵便自動引落し申込書を送って下さい。		
<input type="checkbox"/>	その他の銀行自動引落し申込書を送って下さい。		

上の申込書をコピーして、必要事項を記入の上、FAX又は郵送にて大阪事務所までお送りください。確認書類等を送らせていただきます。お電話やウェブサイトでも申し込みできます。

※記入後にスマホで撮影し、下記メールアドレスにお送り頂いても受付いたします。

わたしから始める、世界が変わる

Hunger Zero News
ハンガーゼロ・ニュース

1分間に17人(内12人が子ども)
1日に2万5,000人が
1年間では約1,000万人が
飢えのために生命を失っています

2024

1

No.402

Hunger Zero News 今月号の内容

新年巻頭言 清家弘久理事長	P.2
ハンガーゼロ自販機設置者の声	P.3
わたしからはじめる特集	P.4-5
ウクライナ難民緊急支援続報	P.6-7

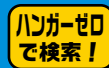


サポーターさんに届ける手紙に「わたしの夢」を書く子(カンボジア)

ハンガーゼロ サポーター 現在...5354人 Child Supporter チャイルドサポーター 現在...1155人

■発行者 清家弘久

■発行所 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構



Webサイトアドレス http://www.hungerzero.jp
eメールアドレス general@jifh.org
フェイスブック facebook でハンガーゼロで検索

■募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイト
①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構
②他の金融機関からの自動振替③クレジット、デジタルコンビニ



「つながる募金」(旧かざして募金)に変わりました。ソフトバンクスマホの方は、Tポイントで募金ができます。

●Tポイントを利用して「南スーダン・マブイ小学校給食支援」ができます。現在までに1,685,854ポイント(円)のご協力(25,405件)がありました。Tポイント募金で検索。
●「つながる募金」はスマートフォンからご利用できます。募金は、ソフトバンクモバイル(株)経由となります。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

大阪 〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1

(広島/沖縄) TEL (072)920-2225 FAX (072)920-2155

東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OCCビル517号室

(東北) TEL (03)3518-0781 FAX (03)3518-0782

愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町 2-3 YWCAビル6F

TEL (052)265-7101 FAX (052)265-7132

USA Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa

8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605

TEL(510)568-4939 FAX(510)293-0940



Hunger Zero



JIFH



チャイルドサポーター

毅然とした態度で世界の困難と向き合っていく

2024年になりました。だれもが年の初めに思うことは、「今年一年世界が平和でありますように」です。しかし、そうなったためしはありません。23年はロシアによるウクライナ侵攻が続き、さらにイスラエル・パレスチナ紛争の戦闘は激しさを増しています。またトルコ地震の爪痕も大きく残り、被災された方々の日常はまだ戻ってはいません。

私が暮らす大阪の八尾市にウクライナ・ハルキウからの避難民親子さんがいます。現地で働く王楠穎さんを通じて、地元教会と協力しこの方々の受け入れを行なっています。母親のナタリヤさん^{おうなんえい}は地域でウクライナでの経験をお話する機会が何度か与えられています。10月号でも紹介しましたが、その抜粋をここに載せます。



「2022年2月24日の朝5時、私たちは轟音、爆発音、そして軍用重機の動く音で目が覚めました。全面戦争が始まったとは信じがたいことでした。ハルキウはロシアとの国境から40kmほどのところ。攻撃が少し落ち着いたとき、娘と私は食料品を買いに出かけました。列を守っていると、突然ホイッスルが聞こえ、また何度も何度も砲撃音が聞こえました。ロケット弾が私たちの頭上を飛び、私たちは火災、煙、ビルの巨大な穴、車の衝突など、壊滅的な状況を自分の目で見ました。数分のうちにそれは焦げた残骸と化し、人々の泣き叫ぶ声が聞こえてきました。死、恐怖、破壊、断続的に鳴る緊急警報システム、そして自由な移動ができないこと、このすべての時間は私たちにとって困難で本当に長く感じました」涙ながらに話すナタリヤさんの恐怖

体験を聞いた聴衆の方が次のような感想をくださいました。

「ウクライナ女性の生身から溢れる涙は、強烈なリアリティをもって伝わって来ました。わたしたちが享受している平和も、薄氷の上にある奇跡のようなものだと感じました」

平和を築いていくことがいかに大変であるかをいま改めて考えさせられるのです。

2020年12月に天に召された日本国際飢餓対策機構の創立理事長 堀内顕先生の記念会が昨年11月23日に行われました。そのときに国際飢餓対策機構連合のランディ・ホーク氏が次のようにスピーチされました。

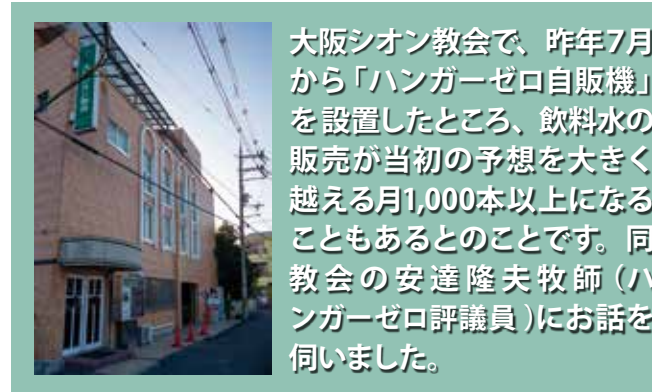
「このスピーチを準備していたとき、聖書の中から堀内先生のカギとなるキャラクターを表す言葉を見つけたいと思いました。探していたものをついに見つけました。『さて、天に上げられる日が近づいて来たころのことであつた。イエスは御顔をエルサレムに向け、毅然として進んで行かれた』（聖書・ルカ 9章51節）、私が強調したいキーワードは『毅然とした態度』です。似た言葉には、決意した、目的を持った、一途に、揺るぎないなどがあります。堀内先生にはその言葉が当てはまります。FHIでは、先生は団体のビジョンと聖書の言葉をもって毅然とした姿勢で導いてくれたのです」。

私たちは混とんとした世界にあって、毅然とした態度で世界の困難に向き合い、弱い人々に寄り添い、平和を築く努力と、正しいと思われることを行ない続けていきたいと強く願わされるのです。

ハンガーゼロ理事長 清家弘久



堀内顕牧師（創立理事長）の合同記念会（グレース宣教会、キングスガーデン三重、ハンガーゼロ）には国際飢餓対策機構連合の代表者が出席されました



大阪シオン教会で、昨年7月から「ハンガーゼロ自販機」を設置したところ、飲料水の販売が当初の予想を大きく越える月1,000本以上になることもあるとのこと。同教会の安達隆夫牧師（ハンガーゼロ評議員）にお話を伺いました。

大阪シオン教会（東大阪市）

自販機は予想以上に利用されてびっくりしています！

Q ハンガーゼロ自販機設置の経緯をお話してください

設置してもらったのは、2022年7月からです。それまで教会内には飲料販売コーナーがありました。日曜日朝の礼拝のあと、ゴスペルクワイヤーの練習とか若い人たちの集まりなどで教会に残る人たちのために飲み物は必要なのです。ただその都度安い量販店に買いに行くのは手間だし何かいい方法はないかと考えていました。それでこの自販機を設置すればそういう手間も省けるし、さらに少しでも募金になるなら試してみようということになりました。

Q 自販機設置後の状況は

教会の場所が幹線道路から離れた住宅地の中にあるので、飲み物はそんなに売れないだろうと思っていました。おそらくキリンビバレッジさんの見立ても同じだったと思います。だから自販機のラッピング（ハンガーゼロ仕様の外装）もなかったのです。しかし、最初の月から700本も売れました。正直びっくりしました。もちろん教会員には「どうせ飲み物買うならここで買って」程度のお勧めはしましたが、それでもせいぜい3分の1位ですから、ご近所の皆さんが買ってくださっているようです。中には毎日のように数本買っていかれる方もおいでになるようで、嬉しいですね。今年8月（昨年）には、めちゃ暑かったこともあり、初めて

月に1,000本を越え、9月もよく売れていました。

Q 利用されるために何か工夫されたことは

特に何もしていません。ただ教会には子どもや若い人たちが多くいるので、キリンさんには「コーヒーとか水ばかりが並ぶのだけはやめて欲しい。できるだけいろんな飲み物を入れてください」とお願いしました。あとは値段ですが、ほかの自販機よりも平均的に安くなっているのです。これはこちらから要求したことではなかったのですが、それも良かったと思います。

Q 設置して困ったことは

これまでのところ特にありません。むしろこんなに売れて募金も定期的にできているので、教会には何もマイナスになることはなかったなど実感しています。当初は自販機を置くとその周りにゴミがたまるとかとても心配しました。しかし、今はよく売れることもあり、毎週1回ペースで飲み物補充と空容器の回収に来てもらっているので問題ありません。また予想以上に飲料水が売れるということで、すぐにラッピング仕様の自販機に入れ替えていただきましたので、ハンガーゼロへの協力を宣伝できるようになって良かったです。あとは備蓄（パン缶と水の提供）も実現するならさらに嬉しいと考えています。



自販機設置のご相談は、大阪事務所まで。JIFHのホームページに資料を掲載。右のQRコードからご覧になれます

備蓄をしながら社会貢献



世界にパンを届けよう



おいしさとお届けします。

株式会社パン・アキモト

パンの缶詰
since 1995

〒329-3147
栃木県那須塩原市東小屋295-4
TEL 0287-65-3351

パン・アキモト 検索

皆様から回収された救缶鳥は各地に飛んでいきました！



食料が不足している、国内外の豪雨・地震等の災害被災地や、海外の飢餓地域等へ送られました。



世界食料デー・滋賀大会

参加や計画して始める

● 世界食料デーに参加し啓発・募金に協力する

2023年の世界食料デー大会は、全国10地区16会場で開催されました(オンライン併用含む)。またキリスト教会で世界食料デーのための特別な日曜礼拝を実施される所も広がっています。それぞれの会場ではハンガーゼロが制作した食料デー動画を利用させていただくことができます。ハンガーゼロのYouTubeチャンネルへの登録もぜひお願いします。今年は動画やSNSをさらに充実して支援の輪が広がるように工夫していきます。食料デーへの協力参加については、事務局(東京事務所)までお問合せください。

● 各種学校での「出前授業」にスタッフをよぶ

ハンガーゼロでは、未来を担っていく世代に貧困、飢餓、戦争など、世界の現状を知ってもらい、関心をもって「わたしにできること」を見つけて欲しいと願って、スタッフ



大阪府堺市の幼稚園で講演



ロングライフタウン寝屋川公園 フィレンツェの丘

あたしから始める

「わたしから始める、世界が変わる」特集



飢餓のない世界を実現しよう!

が出前授業を行っています。授業は幼稚園から大学まで年間70校前後で実施しています。目的、人数、対象年齢など、ご要望に合わせてお受けしています。授業(講演)内容についてもご相談ください。オンラインでも実施しておりますので各事務所までご連絡ください。



親善大使を招いてのチャリティ企画・東京

自由学園にて小堀親善大使(左)と演奏するアンサンブルメゾン

● ハンガーゼロ親善大使を招きチャリティを企画

クラシック、ゴスペル、ロックなどの音楽や演芸の分野で活躍されているハンガーゼロ親善大使に世界食料デーや各種のチャリティ企画で協力をいただいています。親善大使を招いてのチャリティイベントなどについてのご相談は、東京事務所までお問い合わせください。



ハンガーゼロ親善大使のみなさん

 ゴスペル歌手	 福音歌手	 フルード奏者
 ピアニスト	 シンガー	 ロックバンド
 フルード奏者	 ゴスペル歌手	 宣教師落語家

ゴスペル亭パウロさんの演目「防災落語」は楽しく防災が学べると好評です

私たちロングライフグループは、ハンガーゼロの活動を応援しています。

ロングライフは1986年の創業よりケアサービスと筋。全国に展開しています。

Health & Natural Beauty
ロングライフグループ
 Resort LongLife
 ☎ 0120-550-294
 受付時間 9:00~18:00 年中無休
 大阪本社 / 〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル25階 東京本社 / 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階
 ロングライフグループ拠点: 北海道/埼玉/東京/神奈川/千葉/静岡/愛知/大阪/兵庫/京都/大分/沖縄/中国(青島)/韓国/インドネシア(ジャカルタ)

生活の中から始める

● フェアトレードの商品を購入する

開発途上国の生産者から適正な価格で買い取られた商品などを、協力企業(株式会社キングダムビジネス)から買って支援する。イベントなどで出店することもできます。チャリティ企画の際はぜひご活用ください。通信販売もあります。商品の購入がハンガーゼロへの支援にもなります。P.8 にいま人気の商品を掲載しています。



● ネットを活用して支援の輪を広げる

ハンガーゼロ YouTube チャンネルやLINE、ツイッター、facebook、インスタグラムのフォローをお願いします。



● ハンガーゼロ自動販売機を利用・設置する

飲み物を買ると1本につき10円がハンガーゼロの支援活動に用いられます。また防災対応のハンガーゼロ自販機を設置していただくと、緊急災害時の備蓄用としてパンの缶詰、水、各96個が無償で提供されます。

【2022~2023年度実績】
設置 116台 募金 3,992,497円
設置のご相談は大阪事務所までご連絡ください。
※ P.3 に自販機設置者さんの声を掲載しています。

● 書き損じ年賀はがきで応援する(古くてもOK)

未投函のはがきや未使用切手を支援活動に用いさせていただきます。かもめーるのはがきや記念切手類なども大歓迎です。国内外の通信費軽減になります。

【2022~2023年実績】
はがき: 199,693円分の切手に換金。
(注) はがきは日本郵便のものに限定
未使用切手: 327,980円分。



ウクライナ難民緊急募金

募金を選んで始める

- 「ハンガーゼロサポーター」になる。(一口1000円/月)
- 「チャイルドサポーター」になる。(子ども一人4000円/月)
※一口1,000円の活動支援や1回限りの支援もあります。
- 「JIFHサポーター」になる。(一口500円/月)
- 「緊急募金」に協力する。(随時、1000円以上から)
「Tポイント募金」Tポイントカードの保有ポイント募金。
「つながる募金」スマホやPCから支援する。
- 「小銭募金」専用募金箱を用意しています。

※硬貨での募金はお振込に高い手数料が発生します。当機構では負担できませんので、直接お届けの場合は、紙幣に換金の上でお願いします。

遺贈寄付をご検討ください

「第3回 遺贈寄付セミナー」を2024年2月20日午後7時から開催します。今回も弁護士と税理士が、遺贈寄付と相続法(税)について、初歩的かつ遺言の文言を紹介しながら実践的な解説を行います。初めての方も安心してお気軽にご参加ください! 講師: 弁護士 崔 信義



遺贈寄付についてのお問合せ、ご相談はこちらへ
お気軽に電話かメールでご連絡ください。
電話: 03-3518-0781 (東京事務所・近藤)
メール: tokyo@jifh.org ※ P.8にもお知らせを掲載



OKUDA DESIGN PROJECT.

貸したい時も、借りたい時も。不動産賃貸のご相談は—
株式会社 オクダコーポレーション
 〒197-0003 東京都福生市熊川447-9
042(552)0102
 インターネットでお部屋探し <https://okuda-re.co.jp>



◀ウクライナの人々の食を助けるために、年金と募金で開いた土子さんのレストラン。右隣は王さん
▼コンテナシティの子どもたちと深水さん



報告④ / ハンガーゼロ ウクライナ緊急支援チーム 深水典幸さん

避難民にも支える人にも心のケアが必要

ウクライナで難民緊急支援活動に参加していた深水さんの報告。先月号からの続きです。

現地で働き続ける2組の日本人との出会い

船越一家(写真⑤)は、ノヴォロシアの一角であり報復爆撃の続いているオデーサで長年、教会の牧師をなさっている宣教師家族です。教会をあげて様々な人道支援を行なっています。現在、船越牧師は息子さんと一緒に従軍牧師—チャプレン—としても働いておられます。



もうお一人の土子さんはクリスチャンでも人道支援ボランティアでもありません。ウクライナ語もロシア語も話せない普通のおじいちゃんです。彼曰く、ポーランドで年金生活を送ろうとしていた矢先、隣国のウクライナで戦争が始まったんだそうです。様々な支援を続けていく中、気がつけば爆撃の激しいハルキウの地下鉄で地元住民との共同生活を始めていたそうです。今は年金と募金を元に同市内にレストランを開き、食料配給と雇用創生に尽力しておられます。名誉市民として表彰され、先日はウクライナの伝説賞を受賞された、正真正銘のウクライナのヒーローです。

船越一家は加古川バプテスト教会を通じて、土子さんはクラウドファンディングで支援金を集めています。

ウクライナの子どもたち

僕が宿泊していた神学校の隣には、コンテナシティと呼ばれる大きな避難所があり、様々な事情を抱えた避難民たちが押し込まれるように生活しています。混じり合う生活臭、働かず喫煙所にたむろする大人たち、戦地からの急な訃報。避難所全体が常にやるせなさに包まれています。彼らは助成金を受給しているはずなのですが、子どもたちはいつも同じ服を着ています。元々依存症の問題を抱える貧しい避難民たちは、簡単に配給や助成金に依存してしまいます。こうした背景からボランティアともめ事を起こしてしまうこともあります。子どもたちも10代の初めから喫煙や飲酒を始めてしまい、周辺住民からの避難所への評価も悪くなっています。比較的安全で日常に近い生活を送ることのできるリヴィウですが、ここはまるで陸の孤島のようなのです。

同避難所において、ハンガーゼロは地元 NGO の協力を得て週4回の体育教育を行っています。私も時間を見つけてはよく遊びに通っていました。子どもたちが元気いっぱい走り回っているだけで住民たちは明るさを取り戻します。私たちがたくさん元気をもらいました。子どもたちはまるで以前ウクライナ中を巡った時に見た菜の花畑のように、優しい笑顔を持っています。彼らははととても怖い思いをしてきました。彼らはあの爆撃されたヘルソンの村のような寂しさも抱えています。彼らと過ごしていると楽しくて、悲しくて、たまらなくなります。

前回の報告はハンガーゼロのホームページで公開しております

暴力が釘付けられたままの心

ウクライナの大人たちは疲弊しています。たとえば家族で西部や国外に避難できても、収まらない怒りや憎しみを子どもたちに伝えてしまうことがあります。「バンバンバン、あいつら(ロシア人)は人間じゃない」若い父親が子どもの体をつかんで揺らします。彼らの体は爆撃から逃れて自由なはずなのですが、その心は暴力に釘付けになったままです。あるドイツのドキュメンタリーの中で小さな少年が「僕の夢は早く戦争が終わること」と答えていました。それは子どもの持つ夢ではありません。それは大人が持つような願いです。子どもたちの夢も戦争の暴力にさらされています。大好きだったケバブが買えない徴兵逃れ、ロシアへの怒りを抱える若い夫婦、両腕を失った帰還兵。ウクライナには多くの自由を奪われてしまった人々がいます。

私のルームメイトは避難民のお父さんでした。彼は小さな娘さんと奥さんを国外に避難させました。「僕には両腕と両足が残っている、家族も無事だ。だから、いつでもやり直せるんだ」何度も何度も私に話してくれました。もしかし



避難民の仮設住居として使われているコンテナハウス(現在は2階階層仕様)
写真⑥ハンガーゼロは同所の子どもたちのためにケアプログラムを続けています

たら彼自身に言い聞かせていたのかも知れません。けれど「小さな娘の成長を見ることができない」「妻を近くで支えられない」と、どうしても落ち込んでしまう日もあります。彼は娘さんには絶対に戦争を見せないと断っていました。「娘の幼少期は今しかないから、ただ走ったりジャンプしたりすることを全力で楽しんで欲しいんだ」。私たちは子どもの支援に学習支援とかスポーツ支援とか名前をつけて行きます。けれども子どもたちはそれを受け取ろうとしないことがあります。まず僕らが念頭におくべきことは、今しかない子どもの自由な幼少期を支えることです。大人はただ学習支援というパッケージを押し付けるのではなく、人格も配慮すべきです。なぜなら、彼らの多くはそのような両親を戦争で失っているからです。

内面のケア

ウクライナ支援というやはり一次支援のイメージが強くあると思います。配給や安全の確保などです。けれども人は植物のように環境や栄養を与えるだけでは生きていきません。避難民や国内ボランティアの内面的なケアが必要です。戦争を通して膨らんだ怒りや不安、無力感に彼らを捉えて離しません。彼らは内外ともに自由を奪われてしまっています。ウクライナの人々は外からやってくる悪と内面から湧き出る悪とに立ち向かわなければなりません。彼らはさまざまな罪、さまざまな死に直面します。死は大切な人を奪い、残された者の人生も飲み込もうとします。僕が思い出すウクライナはそこで出会った人々の顔をしています。いまだ僕はウクライナの全てを知り得ません。けれど、こうして報告させていただいたことは全て私の新しい友人らに起きている出来事です。ぜひ引き続き支援とお祈りをよろしくお願い致します。

【ウクライナ緊急支援募金】

募金は…①郵便振替 ②ホームページからのクレジットカード決済利用の2種類

①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構「ウクライナ緊急支援」と明記
②ホームページ 募金画面からクレジットカード、コンビニ決済がご利用いただけます。



やまと西和ロータリークラブよりウクライナ支援募金

昨年11月19日、奈良県王寺町「やわらぎ会館」で、同ロータリークラブ(丸田隆英会長/写真⑦端)が企画して「ウクライナ支援コンサート」が行われました。約200人が訪れソプラノ歌手内海緑さんの歌の他、当機構理事長清家弘久による活動報告やウクライナからの避難民ナタリア・コプトセバさん(写真⑧)のお話があり、ハンガーゼロのウクライナ支援に100万円の募金と缶入りパン2400個の現地への輸送費を頂きました。



料パックのウクライナ専用ラベルで提供されました。来場者には無